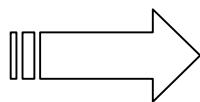


船外機内部の腐蝕を防ぐ為、真水で洗浄する事をお勧めします！
腐蝕が進むとエンジン内に水が浸入し大きなダメージを受けることになります。

船外機フラッシュキット取扱い方法

【準備】



本体を開けた状態です



ポリタンクなど真水が20L以上入る容器を用意します。

(150PS未満は1個以上、150PS以上は2個以上)

①船外機チルトを下ろし**エンジンを停止した状態**で行います。
(高速運転直後は、アイドリングで充分冷機運転を行ってから使用してください。)

②プラグをフラッシュキット本体側と、船外機側にそれぞれ取付けます。



フラッシュキット本体側



※船外機側は、ボトムカウル下のフラッシング接続部のキャップを外し、
プラグを取り付けます。

③ホースはそれぞれ同じ色のコネクタへ取付けます。
ホースプラグをコネクタに接続する際は、軽く「カチッ」と音が
した後に、さらに奥一杯まで押込みます。

【良い状態】



奥一杯まで押込みます！

【悪い状態】





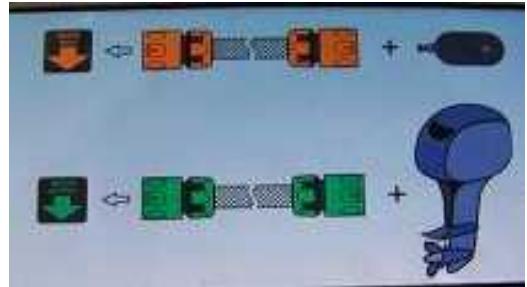
ココ!! →



※矢印部分にグリスを塗布すると簡単に奥まで押込めます。
グリスを塗布しない場合、差込むのにかなりの力を必要とします。

④右の絵図の通りになるように
それぞれ接続します。

同梱品の吸込みフィルターをポリタンクにてご使用の場合は広口キャップ
【内径100ミリ以上】でご使用いただくか、広い容器をご使用
頂ければ、異物混入によるポンプの損傷も防げます。



- ⑤真水の入ったポリタンク等を用意します
⑥オレンジ色のホースをポリタンクに入れます。
緑色ホースは船外機側のコネクタへ取付けます。

⑦本体のワニ口クリップをバッテリーにつなぎます。

※赤クリップはプラス端子(+)へ黒クリップは
マイナス端子(-)へ取付けてください

これで準備完了です！



【水洗開始】

本体BOXの外側にスイッチがあります。～「スイッチON」～ ポンプが作動します。



※「AUTO」側は、タンクの水が無くなり次第自動的にポンプが止まります。

【注意】 使用中、絶対にエンジンを始動させないで下さい。

インペラが破損し、オーバーヒートを起こす可能性があります。

本体のポンプはオートビルジと一緒にですので、デッキ等の水流しにも使えますが、
AUTOの状態の時、ホースを絞るなどで水圧が上がった場合ポンプが停止します